

富山県入善町

本町のデータ

(1)面積 71.25km²

(2)人口 (人)

17国調	22国調	27国調	R元.9.末住基
28,005	27,182	25,335	24,611
65歳以上人口比率(27国調)			33.40%

(3)世帯数

17国調	22国調	27国調	R元.9.末住基
8,708	8,658	8,628	8,997

(4)沿革

明治22年3月の町村制施行

(5)産業構造

区分	就業人口	
	17国調	27国調
1次	1,451人 9.5%	883人 6.8%
2次	6,530人 42.7%	5,387人 41.3%
3次	7,294人 47.7%	6,786人 52.0%
計	15,281人	13,099人



本町の概要

入善町は、富山県の北東部にあり、立山と後立山との間を一直線に奔流する一級河川黒部川が形成した扇状地「黒部川扇状地」の中央に展開する地域です。北は日本海に面しており、海岸線は11.5km、それを底辺とし南に尖った三角形をしています。

扇状地一帯は古くは「黒部四十八カ瀬」と呼ばれ、洪水ごとに氾濫・移動をし、標高約100mの扇状地が形成され、海岸線まできれいに広がっています。

入善町を特徴づけるのは「水」です。黒部川の水は扇状地の中を伏流水として流れ、湧水となって扇端部で自噴します。この「黒部川扇状地湧水群」は、昭和60年に環境庁から「全国名水百選」として選ばれました。また、湧水群の一つである「杉沢の沢スギ」は、国の天然記念物に指定されています。

なお、扇状地上を流れる清冽な農業用水も、豊かな水に恵まれた本町の姿を象徴するものとなっています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

平成31年3月「入善町自殺対策計画」策定

本計画は、平成28年に改正された基本法に基づき、国の定める自殺総合対策大綱の趣旨を踏まえて、基本法第13条第2項に定める「市町村自殺対策計画」として策定した。

また、第6次入善町総合計画を上位計画とし、「新・健康にゆうぜん21」(平成21年～「こころ晴ればれプロジェクト」)との整合性を図りながら推進する計画です。

<具体的な取組み>

こころ晴ればれプロジェクト(平成21年度～)

方針 ①周囲の「気づき」を促し、「助けてが言える」地域づくりと組織体制づくり

②自助・共助・公助を持って安心・安全なまちづくりのための仕組みづくりを自殺対策で目指す

○うつ・自殺ネットワーク会議

H21年度・H23年度～ 健康づくり協議会において、年1回開催。

町自殺予防推進アドバイザー、町内企業健康管理担当者等

○こころの健康セミナー

H18年度～ 年1回開催。

内容:心の健康

対象:町民

○ぐっすり睡眠キャンペーン

H22年度～ 健診等でのチラシ配布、ポスター掲示等

○ゲートキーパー養成講座

H23～27年度・R元年度 全町 年1回開催。

H28～30年度 地域での開催。

○思春期対策

H22年度～ 「いのちの教室」開催

内容:助産師による講義、赤ちゃん・保護者とのふれあい体験

対象:町内各中学校 中学2年生対象

○こころと暮らしのいのちの相談会

H23年度～ 年1回開催

相談スタッフ:精神科医、精神保健福祉士、弁護士(または司法書士)、社会福祉士等

○働き盛り世代へのアプローチ

H20年度～ 町内企業健康管理担当者との打合せ会

○職員研修

H30.6月

対象:役場職員

講師:清水康之氏